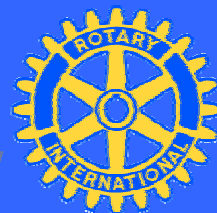


R I 第 2 8 2 0 地区
土浦ロータリークラブ
創立 1958年2月14日
承認 1958年3月7日

R I 第 3 5 2 0 地区
姉妹クラブ
台北陽明扶輪社



TSUCHIURA WEEKLY REPORT

会長 鈴木 實 幹事 円城寺 絃征 【URL】 <http://www.tuchiura-rc.org> 【E-mail】 office@tuchiura-rc.org
事務局：土浦市中央2-16-9（常陽銀行4F） 【TEL】 029-822-1250 【FAX】 029-824-8830

2006年～2007年度 国際ロータリーのテーマ



「紅葉の気配 筑波山(11月初旬撮影)」

RI (国際ロータリー) の創立：1905 (明治 38)
日本のロータリー創立：1920 (大正 9)

RI 会長
ウィリアム・ビル・ボイド

率先しよう

(LEAD THE WAY)

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

2006～2007年度

11月第3例会プログラム 11月16日(第2407回)

点鐘
ロータリーソング
来賓紹介
ビジター紹介
臨時総会
幹事報告・委員会報告
会食
卓話

会長
奉仕の理想
会長
親睦活動委員会

「キララちゃんバスについて」

NPO法人まちづくり活性化バス土浦 理事長 小松 重雄 氏

にこにこBOX
出席報告
点鐘
ロータリーソング

S.A.A
出席委員会
会長
我等の生業

格調高く、和やかに

11月はロータリー財団月間です。

VOL. 19

先週の例会報告

1. 卓話「ユーモア落語小咄柳樽」

奥井 聡太郎 会員

日本シリーズでは日本ハムが44年ぶりで優勝しました。私の卓話は新入会員以来になりますので24年ぶりです。プロ野球に合わせれば20年後でも良かったかなとも思います。「スピーチとスカートは短いほうが良い」あれにはもう一言「なければならないほうがもっと良い」と続くのだそうです。しかし卓話は与えられた時間を埋めねばなりませんのでご辛抱下さるようお願いいたします。

最近とてもおもしろい小咄の本に出会いました。その中の一つ。父親が息子にいいました。「僕ももう大きくなったから本当のことを言おう。クリスマスのサンタクロース、実はあれは父さんだったのだ」息子は驚きもせず応えた。「知ってたよ、コウノトリだって父さんだったのでしょ」



卓話のテーマをユーモアについてと決めて、ジョーク、小咄を面白がってメモしておいたものやら、昔読んだ本から種を見つけて来ました。そしてほかの人の詠んだ川柳に感心したり、ついには自分で作ったりするまでの道筋を振り返ってみて、笑いの種を提供しようと考えてます。ぜひお笑い下さい。

ユーモアについてですが、無論英語のhumorからです。坪内逍遙が1901年に「ユーモア」という言葉を使っているそうです。イギリスでもまだヒューモアという発音が生まれていなくてユーモアとよばれてたそうです。1920年代に作られたオックスフォードの辞書(OED)にも「ヒューマーのはじめのhを発音するようになったのは最近になってからのこと...」とあるということです。ユーモアが伝統的発音でヒューマーが新しい発音。坪内逍遙の使用例は、ユーモアという言葉が19世紀の間に日本に伝えられていることを物語っていて大変面白いことです。英語では母音をとまなう頭のhは発音されないことが多いのだそうで、時間のhourもアワーです。これは英文学者の外山滋比古さんが書いてらっしゃいました。

発音については以上の通りですが、ユーモアとは「自己の客観化である」という定義があります。つまり「ユーモアとは、自分をも他人と同じくわきから眺めて、そのおかしさを笑うことのできる能力あるいは感覚である。ですから他人だけを一方的に笑う人、自分が他人の目にどう映るだろうかと冷静に考えることの出来ない人は、ユーモアに欠けていると言わざるを得ないのだ。」ということです。いろいろの方がいろいろの国でユーモアについて論じています。ドイツの諺には「ユーモアとは、にもかかわらず笑うこと。そういう心のやわらかさ。」とあります。もうひとつ紹介しますと「ユーモアは言葉の妙味ですから、その味をわかる人でないとつまらない。ユーモアとは言葉の教養です。生まれつきのセンスもあります。言葉を実用ではなく、遊びとして使うところにユーモアが生まれるのですから、受け手にも言葉に対する洗練された感覚がないといけません。正直は美德ではありますが、ユーモアを解するにはときに、その美德を捨て、そのやりとりを支える教養がないとユーモアはわかりません。」

「おおたわけこれが雨具かヤイ女」という江戸の川柳があります。これを笑うかどうかは、太田道灌の故事。雨にふられ雨具をかりに農家に立ち寄る。ところが娘に山吹の花一枝をみせられて意味がわからず。城に帰って家来から「七重八重花は咲けども山吹のみのひとつだに無きぞかなしき」という和歌があると教えられ、その意味を覚ったということを知らないと、つまり教養がないと面白くもなんともないという訳です。「おおたわけこれが雨具かヤイ女」。私が道灌だったらこう叫んだかもしれないと思わせる実に面白い川柳です。これも江戸の川柳ですが面白いでしょうか。「三人で一人魚食う秋の暮れ」、「さびしさはその色としもなかりけり槇立つ山の秋の夕暮れ」寂連法師。「こころなき身にもあはれは知られけり鳴立つ沢の秋の夕暮れ」これは西行法師。藤原定家が「見渡せば花も紅葉もなかりけり浦の苫屋の秋の夕暮れ」と夫々秋の夕暮れを詠った三首を指して「秋の三夕」と称えられています。寂連も西行も坊さんなので魚はたべなかった、定家だけが魚を食べただろう、という川柳です。これほどまでに教養を強要されるとちと大変であります。しかし江戸時代にはこの程度は常識だったのでしょう。「同じ期限内に三人に寂しがり」という川柳もあります。小咄を一つ。「俺には教養がないから、ユーモアのためにも、これから教養を身につけるよ」「それは良いことだ。いつから」「今日よ(教養)」これは駄洒落の類で教養は必要ありませんが、ことばの遊びのユーモアであることは間違いありません。さらにユーモアについて探してみますと。ユーモアの成立には1)発する人、2)反応して笑う人、3)全くそのことに關心を示さない人の存在が必要だということを見つけました。今日はユーモアを発信して皆さんに笑いを提供しようと考えました。でも以上で今日の卓話に笑いが起きなくても失敗ではないという防波堤。つまり笑わない方がいないとユーモアにならないということを上記して気楽に進めようと思います。

さていつの頃からこんな笑い話に興味を持ったのだろうかと振り返ってみますと、「少年倶楽部」という雑誌を本

やさんで立ち読みしてた頃にもどりましょうか。雑誌には黄色いページがありまして、たとえば「12両編成の貨車の八両目に豚が12頭乗せられていました。夜中の12時にあるところを過ぎたら皆眠ってしまいました何故でしょう」というような問題に「トンネルを過ぎたからです」なんて言うのを喜んで読んでました。その後はなんとも行って落語です。娯楽はラジオしかなかった時代「日曜寄席」をかじりついて聞いてました。学生時代になって新宿の末広や上野鈴本では放送では聞けない廓咄を新鮮な気持ちで聞いたものです。昭和五四年出版の「オチの表情」。今回改めてひっぱりだして楽しみました。その本から引いてお話します。研究家は、オチを十一種類に分類してます。落語は理屈ではなくて芸ですから、芸のない私でも面白く感じてもらえそうなところをご紹介します。たとえば「トタン落ち」。「めくらの提灯」という落語があります。ある盲人が遊びに行つての帰り、夜になったので「すみませんが提灯をかしてくれませんか」「目の悪いあなたが提灯もってどうします」「へえ道を歩くのに危ないですから。いえ私は要りませんが、私が提灯さげて歩いてましたら、目の開いた人がよけてくれます」「なるほど、これは理屈だ。これ提灯貸してあげなさい。蠟燭に火をつけてあげてな」という訳で提灯を片手に杖をついて歩いていくと、反対の方から千鳥足の酔っ払いがすれ違いざまにぶつかってきた。盲人が「気をつけてください。」酔っ払い「気をつける？おまえが気をつける。」「おっしゃる通りです。私はめくらですが、目明きのあなたにこの提灯の火が見えませんか」と差し出した提灯の火が消えておりました。と最後の言葉一言で、全体の咄を突に見事に、効果的に、綺麗に締めくくっている。簡潔な言葉で急にオチになるので「トタン落ち」というそうです。分類はどうあっても楽しく笑えれば良いのです。

オチの味わいの基本に一口落語というのがありましたので紹介します。後の言葉が落ちになっていて、オチの言葉がないと笑えないものです。「顔色が悪いが心臓病か？脳々」「あの大工はいつも酔ってるぜ 一日中のみきり」「豆腐やに来てまで悪ふざけする子だ からかいに来た」「雨の日でも芝居は打つだろうか 雨天雨天」。次は言葉遊びのオチ。寶銭を掠めた泥棒、入り口の仁王様に見つかって大きな足でむんずと抑えつけられた、腹を押されておもわず大きなおなら、その臭いこと臭いこと。仁王様は片足で押さえたまま顔をそむけて「くせえーもの」。踏まれた泥棒は下から見上げて「におうか」。

さてこれからは川柳に関するものを紹介します。

まずは川柳についてです。

「有効期限を過ぎた男と賞味期限を過ぎた女の夫婦がむきあっている仲を腐れ縁という」

といったのは綾小路きみまろです。彼を紹介して下さったのは鈴木会長でした。

会長は皆さんご覧の通り巧まざる、いやかなり巧んだユーモアの持ち主でいらっしゃいまして、昔ゴルフ場で「法的に言えば、素振りと空振りの違いは打つ意志が在ったか無かったかによる。」というのです。「意志はどうして確認するのか」と問うたら「振った時“あっ”と言ったかどうかだ」これもなかなかの小咄です。そのきみまろがネタとして無断で使ったと、一時騒がれたのが、第一生命の「平成サラリーマン川柳傑作選」で1991年に第一冊が出てそのご毎年、「二匹目」「三杯目」「四番打者」「五つ星」「第六感」と暮れに発行されています。とにかく面白い。

「運動会抜くなその子は課長の子」「親の希望(ゆめ)つぎつぎ消して子は育つ」「酔うと出る俺が出世をしないわけ」「さあやるか昼からやるかも五時か」「十二支がねーリストラと聞こえたり」「石の上三年たてば次の石」「少数になって精鋭だけが欠け」「遺産分け母を受け取る人がない」

月刊「現代」に山藤章二さんのボケ川柳という欄があります。これもまとめたものが出版されてますがサラリーマン川柳が現役とすれば、退職後の川柳かなとも思えます。とにかく愉快です。

「怖いのはアメで育った子へのムチ」「処罰せよどうせ他人のガキだもの」「車内キスそれから先をやってみろ」「うちにいた貧乏神は飢えて死に」「ホームレスアウトドア派と言ってくれ」「前倒しワシのは前から倒れてる」「もどめるな今日は済ませてきたからな」「西行は花の下オレは腹の上」「ボケ初め妻知る子知る我知らず」「大往生うんと手前で立ち往生」こんなのをみつけては喜んでます。

さて、これからは自慢話となります。二年前の今ごろ、岩波書店からはがきが届きました。内容は「朝日川柳の選者大伴閑人が「川柳もの申す」という本を出版する。その中にお前の句が入ってる。」というもので、良く考えると販売促進なのです。でも喜んで早速数冊予約しました。掲載されたのは「ビリだったオレはいまでもビリのまま」という句で、ノーベル賞を受けられた小柴さんが学生時代の成績をざっくばらんに披露され、話題になった時に詠んだものです。新聞に載ったおりに友人から電話をもらいまして「ビリのままじゃこんな作れないと女房が感心してます」と妙な褒めを頂きました。

ノーベル賞受賞者についての句では、野依博士の時に掲載されました。2002年4月でしたがこれは博士が海外の収入の処理を誤って話題になった時のもので「収入の不正合成まざるが」。何の面白みもないようですが、受賞の対象がなんとか触媒による不斉水素化反応、不斉合成というもので、不正と不斉が掛けられています。川柳を作るにもかなりの教養が必要なのです。種を明かせば不正疑惑を報じる新聞に、博士の功績が載ったのを見たに過ぎません。

この年が投句をはじめた年で最初に掲載されたのは「大井川それともルビコン三十兆」というもので、ちょうど小泉さんが、米百俵をさわいでいたころ、国債の発行額の限度が論じられていました。箱根八里は馬でも越すが越すに越されぬ大井川か、賽はなげられたとシーザが渡河したルビコン河か、越すか越さぬかと言う句でした。はじめて掲載されたというのでコピーをばら撒き、メールを配信と舞いあがりまして。続いて国会議員の口利きが話題になり、「議会では開かぬままの口を利く。」国会では質問もしないのに...口利きで稼ぐのかというのが、七月に採用されました。この時はロータリーにいらした石井先生から激励のハガキを頂戴しました。またある人からはもっと面白いのをつくれと電話を貰いました。続いて十月の「ビリのまま」と四首となりました。採用されると二千元下さるのです。これで老後は年金と掲載料で過ごせると大喜びの年でした。しかし2003、4年は鳴かず飛ばず。掲載料を当てにすることは出来ないと思われ知らされました。

「川柳もの申す」という本によれば月に約三万通近くの応募があるそうです。採用は一ヶ月に百首に満たないと思います。現在は西木空人という選者が加わりましてでも少し増えていると思いますが、それにしても大変な狭き門です。どの句の時でしたか朝早く小野さんから載ってるよと電話をもらいまして、急いで新聞を開いたこともありました。しかし翌年の年賀状には、「見てるよ」「頑張り」「何回載った?」と何枚もあって、さすが朝日新聞、全国区だなーと思いました。

昨年は、正月早々に「代わっても顧問センスに欠けたまま」これはNHKの海老沢会長が顧問に就任した折りのドタバタです。2月になって「見とれてるラブサーティも知らぬ人」が載りました。これはシャラポア人気沸騰の時でした。ベッカムといえばベッカム、ヨンサマといえばヨンサマという風潮に続いてのシャラポア、テニスを知らぬ人もその容姿にうっとりでしょうと揶揄したものです。

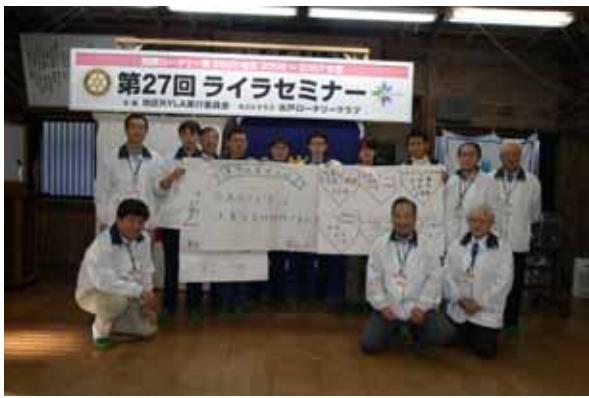
没になった川柳の中にもかなりの出来と自負するものもあります。西武の堤義明逮捕のときに「プリンスは包みこまれてプリズンへ」。昨年ニューオリンズにカトリーヌ、リタと大型台風の連続襲来の際には「議定書に署名はいかがとリタもまた」。最近では一票の重さの訴訟判決に「5対1引き分けという最高裁」。十月から老人医療費負担増では「患うまい私はそんなに払えない」。没句を順序よく並べてみますと一年は早いなどいつつも今年の世相を映し出していると自己満足をしています。これからも投句は続けてまいります。私の名前はめったに出ることはないでしょうが、面白い川柳を楽しめますので朝日新聞の川柳蘭もぜひお目通し下さい。

以上本の引用や他人からの借り物の紹介で、卓話のつとめを果たしました。まさに「他人のふんどしで相撲をとる」とはこういうことでしょうか。ある同時通訳者がこの「他人のふんどしで相撲をとる」を咄嗟に「他人のパンツでレスリングをする」と訳して意味が通じなかったという失敗談をオチにして卓話を終わります。ご静聴ありがとうございました。

2. ライラセミナー報告 地区ライラ委員 岩瀬市朗

本年度第27回RYLAセミナーが、11月10日～12日の二泊三日で実施されました。場所は水戸黄門が晩年を過ごした隠居所西山荘にほど近い高台にあり、眺望が素晴らしい県立西山研修所で行われました。参加者は、登録者93名、地区委員、新世代奉仕委員会およびホストクラブ(水戸RC)、地元常陸太田等、ロータリアン37名、総勢130名程で大変盛況裏に終了しました。当クラブよりは、クラブ推薦の土浦ローターアクトクラブの会長、幹事の2名、それにクラブの新世代奉仕委員として佐藤二郎PGが全日参加され、若者と一緒に行動し活躍しました。セミナーの総合司会進行は、地区ライラ委員の岩瀬が担当しました。皆様のご支援・ご協力に感謝します。





3. 委員会報告

米山奨学委員会

10月の寄付金傾向

特別寄付金

10月当月 161,039,179円

10月末累計 327,335,962円

米山月間は前月を更に上回る好調な結果となりました。100万円以上の寄付が個人で4名、クラブで16クラブありました。寄付累計額の5億5千万円は、2002年以降の5カ年中で最高額です。今後もよろしくお願いたします。

ガバナー公式訪問記念寄付クラブ(単位:万円)

地区	クラブ名	金額	地区	クラブ名	金額
2820	土浦	30	2760	津島	10

功労クラブ

(単位:万円)

地区	クラブ名	金額	地区	クラブ名	金額
2510	札幌東	123	2780	秦野	109
2820	水戸	174	2780	相模原	102
	土浦	208	2640	岸和田東	167
2580	東京	202	2650	武生	102
2590	川崎中	138	2660	大阪東	218
	横浜港北	101	2660	大阪北	226
2600	長野東	170	2680	加古川	103
2750	東京立川こぶし	176	2760	犬山	144

出席委員会 優良出席卓表彰(10月)

2卓(100%)

堀越君、渡辺(俊)君、廣瀬君、白田君、白石君、塚本君、沼尻君、福田君(計8名)

5卓(92.86%)

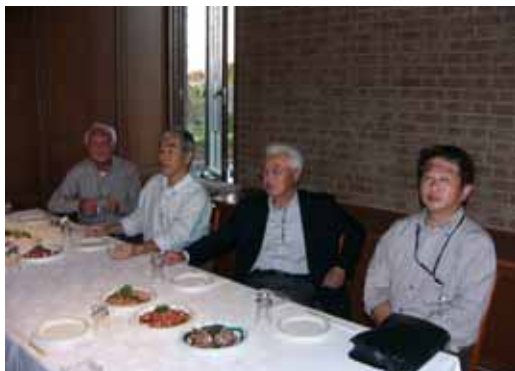
奥井君、神林君、倉持君、小松崎君、高木(彬)君、中桐君、箕輪君(計7名)

Topics



第7分区ゴルフ親睦ゴルフ大会

11月9日(木) 豊里ゴルフクラブ



寄付金報告

ロータリー財団

受付日	氏名	金額		累計(ドル)
		ドル	円	
11/9	青木 孝之	100	11,800	3,800
11/9	石井 敏裕	150	17,700	1,400
11/9	奥井聡太郎	100	11,800	4,850
11/9	倉持 武久	150	17,700	2,450
11/9	小松崎幹雄	100	11,800	2,000
11/9	高木 博昭	150	17,700	3,020
11/9	高木 彬	150	17,700	6,200
11/9	鶴田 一郎	100	11,800	1,250
11/9	堀越 恒夫	200	23,600	2,950
11/9	箕輪 博之	100	11,800	3,100
11/9	森内 英雄	100	11,800	1,800
11/9	渡辺 浩一	150	17,700	300
	計	1,550	182,900	

累計 7/1~11/9 10,600ドル 1,250,800円

にこにこBOX

11/9 35,000円 累計1,005,000円

奥井君~今日の川柳です。「ニコニコの本音はヤレヤレ卓話済む」
結婚祝~鈴木君、坂本(栄)君、佐藤君、河合君、青木君、小野君

メイクアップ

海老原、岩瀬、山本、小網、円城寺、白田、渡辺(俊)、松浦(泰)、辻、磯、松浦(正)、井坂、島田、羽方、中桐(11/9 第7分区ゴルフ)

出席報告

会員	欠席	出席	出席免除	出席率
69名	17名	52名	12名	70.18%

例会予告

11/23 休会(祝日)

11/30 卓話「日本の予防接種」石川 清人 会員



結婚記念祝(11月)

本日のメニュー
 鯖の舟場仕立て
 刺し身盛り合わせ
 水菜のサラダ
 十六穀米ご飯



例会場：ホテルロイヤルレイク土浦／例会日時：木曜日 12:30~13:30